

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 17 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課担当課長 加藤 隆志
都整-35	実施事業	雨水施設維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
			主管課 下水道河川課 関連課 浄化センター
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等守るため。
効果	雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。 ・雨水調整池の浚渫を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	3,783	3,425	当初予算(千円)	6,038
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	3,783	3,425	一般財源	6,038
事業経費運営	人員配置数	0.3	人員配置数	0.3	
	人件費(千円)	2,372	2,394	人件費(千円)	2,411
	総事業費(千円)	6,155	5,819	総事業費(千円)	8,449
	市民1人当りの経費(円)	35	33	市民1人当りの経費(円)	48
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	事業へ統合	
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 大雨や台風による浸水被害から、市民の生命や財産等を守るために重要な事業であり、確実に事業展開を図っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	大雨や台風による浸水被害から、市民の生命や財産等を守るためには、雨水排水施設を健全に維持していく必要があることから、事業費の確保が重要である。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	施設の老朽化が進み、事後対応で修繕を行っているが、予算の範囲内での対応となっている。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	雨水調整池の自主点検を行った。 雨水調整池の浚渫を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後は施設の老朽化が進むことで、良好な状態を維持するための更なる対応策を検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ゲート類点検					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		管理施設全箇所
浸水対策としてゲート類の良好な機能維持が必要なため。	目標値	58.0	58.0	58.0	58.0		58.0	58.0		
	実績値	58.0	58.0	58.0	58.0		58.0	58.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%		

指標の内容	雨水調整池の浚渫					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)		H30(2018)	R01(2019)		令和元年度までの処理実績
浸水対策として雨水調整池の浚渫は継続的な対応が必要なため。	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0		2.0	2.0		
	実績値	1.0	0.0	2.0	2.0		2.0	2.0		
	達成率	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	100.0%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	ゲート類点検については、年1回全58門を実施し、必要に応じて修繕を実施していく。 雨水調整池の浚渫では、32施設を年2箇所以上を目標に実施し、適切な維持管理を行う。									
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--